

ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社  
(以下「ディズニー」という)

第十回ディズニージュニア放送番組審議会

議事録

開催日時 : 2016年11月07日(月) 14:00~14:30  
開催場所 : 東京都港区虎ノ門1-23-1  
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社  
27F 会議室  
在任審議委員数 : 7  
出席審議委員数 : 5  
出席審議委員氏名 : 阿部 京子  
木下 美子  
名越 康文  
前田 耕作  
山田 顕喜  
その他、ディズニ : 編成部門担当者5名  
ーからの出席者

- 議案**
- 1) ディズニージュニアの番組編成・改編について
  - 2) ディズニージュニア放送番組について  
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にDVDを送付した。)  
・「おとぎのもりのゴールディとベア」

**審議の概要**

1) ディズニージュニアの番組編成について

ディズニー・ジュニアの概要について説明がされ、下記のとおり意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

- ディズニージュニア全体の視聴率が上がってきている。
- 今月18日(金)はミニーの誕生日を祝う特別編成「ハッピーバースデー！ミニーマウス」を組んでいる。
- 今回お見せした「おとぎのもりのゴールディとベア」は、土日の12:30に放送している。

- 本日の朝から新たに「チャギントン」も放送開始した。
- どのような作品か？
- チャグとは電車のことで、チャギントンというのは作品世界の名前。  
近未来的な設定で、主人公たちキャラクターが電車であることが特徴。
- 乗り物好きの子供たちも喜ぶ作品と思う。
- 「カーズ」のテレビシリーズはやらないのか？
- 今は映画のみだが、短いアニメーションがいくつかある。

## 2) ディズニー・ジュニア放送番組について

ディズニー・ジュニア放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

### 『おとぎのもりのゴールドディとベア』について：

- イギリスの童話「三匹のくま」がもとになった作品で、ゴールドディとベアの二人が友だちになった「その後の世界」を描いた物語。  
有名なおとぎ話や昔話のキャラクターが多数登場するが、それぞれ少しアレンジされているため、原作を知っている子も知らない子も、楽しめる内容になっている。
- シリーズ全体のテーマとしては、周りの人たちと協調する、友だちを大切にする、他人を尊重する、思いやる、問題解決等といったものが含まれる。
- 問題の解決の仕方が、何でもガチガチに「ルールどおり」ではなく、状況に即した形で物事を収めようとする点に驚いた。
- 新しさを感じる。それでいてディズニーらしい点もあり良い作品。
- 確かに少し凶々しいと思われるキャラクターたちも登場する。
- 子供たちからは、ディズニーはいいキャラクターが多くてつまらないという意見もたまにあったので、多面性があるほうが伸びていくと思う。
- 以前は日本ではボランティアというものがあまり一般的ではなかったが、子供は何でもちゃんと見ていて学習していく。この作品には、現代社会の色々なものが入っていて良いと思う。
- 言ったもの勝ちにならないように、フォローするほうがいい。
- あるエピソードで、オオカミのビッグ・バッド・ウルフが扱いづらくなり、森の住人たちから排除されそうになるが、追い出してしまうのは良くないということで、彼は森に残れることになる。だが、無条件に凶々しいままで居ることが許されるわけがなく、彼のほうも、人に親切にしたりルールを守ることを学ばせられる。どこかではバランスが保たれるように作られている。

- キャラクターもかわいくて、登場した巨人も優しい。ベアのキャラクターを気に入っている。
- 原作を知らなくても楽しめると思う。それぞれのキャラクターの表情が色々変わるので、子供も熱心に見ている。

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので14：30に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。